



【早起し、日の出の時刻に合わせて出かけたアンコールワット。その神秘的に満ちたシルエットに目を見張る】

長くタイにいながら、すぐそばにある世界遺産アンコールワットには行ってなかった。
そして、今回、そのモヤモヤをやっと晴らすことができた。

アンコールワットがあるのはカンボジアのシェムリアップ。
バンコク国際空港（スワンナプーム）から、プロペラジェットで約1時間である。
世界文化遺産に登録されているのはアンコール遺跡群、その中に数々の寺院遺跡があり、その中で最大規模を誇るのがアンコールワットである。

1113年に即位したスールヤヴァルマン2世がヒンドゥー教の宇宙観をもとに構成し約30年かけて造った寺院遺跡、とある。
日本ではこの頃、平清盛が生まれ、源平合戦を経て、鎌倉幕府と向かう時代である。
一方、はるか、離れたこの地では、クメール王朝の最盛期、当時世界最大の栄華を誇ったという。
その栄華のあとを残す遺跡はとにかく「凄い」の一言に尽きる。

「一度は行ってみたいユネスコ世界遺産ランキング第1位」の評価に異議なし！！
本当に行ってみてよかった。